児　童　文　学　の　基　軸

Otfried Preußler　**Ich bin ein Geschichtenerzähler**

私は物語の語り手である

オトフリート・プロイスラー 著／森典子 訳

ズザンネ プロイスラー・ビッチュ／レギーネ シュティクローアー 編

5月28日発売予定／四六判上製カバー装・二五六頁　定価（本体二、八〇〇円＋税）

『小さい水の精』『小さい魔女』『大どろぼうホッツェンプロッツ』『クラバート』等で知られるドイツの代表的児童文学作家が、生涯や創作活動とその背景・影響等について自ら述懐する

幼少期に祖母の物語や民話に影響を受け、戦争や捕虜収容所での過酷な経験が、彼の人生観や作品に大きな影響を及ぼす。戦後の著作活動において、物語の「作家」ではなく、「語り手である」ことを強調し、語り相手の子供たちとの交流や教育活動にも力を注ぐ。ファンタジーを通じて、希望や夢、想像力、人間性を育むことの大切さを説く。そのため「子供たちのファンタジーのための遊びの場」が充分でなくてはならず、物語の語り手として提供するものも「ファンタジーのための遊びの場」であることを力説する。

【本書の内容】

本書成立の由来、編者まえがき
第一章「素晴らしく晴れやかな日々」——ライヘンベルクの幼年時代
第二章「人間は、物語を必要としている」——戦争、捕虜、再出発
第三章「物語の語り手として学校へ行った」——二つの職業、教師と作家
第四章「思考の遊びへのきっかけ」——子供たちは物語を必要としている
第五章「物語のためのパン焼き人、なかなか良い呼び名です」——仕事場督見
第六章「私は、生涯において多くの幸せに恵まれました」
——プロイスラーの作中人物が遍歴の旅に出る
第七章　終わりに若干の言葉を
訳者のあとがき

仕入れご担当者様 ※ご注文は（株）地方・小出版流通センターへ——**FAX：03-3235-6182**

鷗出版　〒270-0014 千葉県松戸市小金 447-1-102
電話：047-340-2745／ ホームページ：https://www. kamome-shuppan. co. jp

注　文　書

地方小出版流通センター　取扱品

帖合・書店名

注文数　　冊

条　件　**注　文**

鷗出版

私は物語の語り手である

オトフリート・プロイスラー 著
森 典子 訳

ISBN978-4-903251-24-0 C0098

定価（本体2,800円＋税）

ご注文日
年　月　日

キリトリ線